

令和8年

新年のごあいさつ

松浦市長

友田 吉泰



明けましておめでとうございます。皆さまにおかれましては、令和8年の新春をお健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は市政に対し格別のご支援とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

本市は平成18年1月に松浦市、福島町、鷹島町の1市2町の合併により誕生し、本年1月1日をもって市制施行20周年の節目の年を迎えることができました。これもひとえに関係各位の多大なるご尽力と、そして何よりも市民皆さま方のご支援ご協力の賜物と存じます。

さて、昨年9月から11月まで長崎県において「第40回国民文化

祭・第25回全国障害者芸術・文化祭」が開催され、県内各地においてさまざまな文化イベントが実施されました。

本市におきましても、「松浦みんなの作品展」、「まつうら郷土芸能共演会」、「元寇所縁^{ゆかり}の子どもサミット」などを実施しており、市内外から多くの人に足を運んでいただきました。地域固有の文化を再認識していただくとともに、地域の魅力を発信し、障害のある方々と芸術文化を通じたふれあいの機会を創出する絶好の機会となりました。

12月には西九州自動車道松浦佐々道路の松浦IC・平戸IC間が開通いたしました。

これにより、西九州自動車道の松浦市内区間は全て供用することとなり、市内交通の利便性の向上はもとより、周辺市町へのアクセス性の向上による新たな企業立地や雇用創出など、地域産業の活性化が期待されます。

開通に際し、ご尽力いただきました本県選出の歴代国会議員の皆さまをはじめ、国土交通省や長崎

県など関係皆さまに深く感謝申し上げますとともに、貴重な用地をご提供いただきました地権者の皆さまに改めてお礼申し上げます。

本年は、供用開始した西九州自動車道松浦佐々道路の桁下を活用したアーバンスポーツ（スケートボード・3×3バスケットボール）専用スペースが完成する予定であり、新たなにぎわいづくりの場として期待しているところです。

また、県営事業で進められている高野地区地すべり対策工事の完成に併せ、リニューアルした不老山総合公園を開園する予定にしています。市民の皆さまの憩いの場として、さらには観光スポットとして、リニューアルオープンできる日を私も大変待ち望んでおります。

さらに、地場企業の支援および企業誘致を目的とした松浦市西部工業団地（仮称）の造成について、これまで実施した測量・設計業務等に基づき、物件・用地補償の諸手続きなど、工事着手に向けた取り組みを進めてまいります。

近年の少子高齢化や人口減少、コミュニティの希薄化などによ

り多様化・複雑化した地域課題に対応するため、小学校区単位での協働によるまちづくり組織の立ち上げを目指しております。

市内全9地域のうち6地域でまちづくり運営協議会が設立されており、他の地域においても設立に向けた準備が進んでおります。この取り組みが市内全域に波及していくよう引き続き推進してまいります。

新しい年も、市民の皆さまとともに策定いたしました「第二次総合計画」に掲げる6つの将来像の実現を目指し、「育つ・つながる・根をおろす」の基本理念のもと、10年後、20年後の本市の将来を見据え、数多くの重要な施策を推進し、市民が主役の誰もが「住みたい・住み続けたい」と思えるまちづくりに力を注いでまいりますので、皆さまのご支援とご協力をお願い申し上げます。

結びに、本年が皆さまにとりまして、健やかで輝かしい年となりますよう心から祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。

松浦市議会議員長

宮本 啓史



明けましておめでとうございます。

市民の皆さまにおかれましては、輝かしい新春を健やかに迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

また、日頃から、市政発展のために多大なるご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨今の日本経済は、緩やかに回復傾向にあるものの、アメリカの関税政策により、新たな不確実性の時代を迎えようとしておりますが、新しい年は、景気回復の良好な流れが波及することを期待いたします。

本市は、合併後20年を経過し、それまで自立する地域社会を目指し、さまざまな改革に取り組み、

成果を上げてまいりました。

しかし、少子高齢化に伴う人口減少が進んでおり、今後、財政状況はますます厳しくなっていくと考えています。

そのような中にも、国土交通省において事業が進められている西九州自動車道松浦佐々道路の松浦IC・平戸IC間が、令和7年12月に開通し、防災機能強化、企業立地や雇用創出が大きく期待されています。

基礎自治体の役割が拡大する中、議会の責務は一層大きくなり、市議会といたしても、市民の代表としての自覚を持ち、与えられた使命を果たしてまいりたいと考えています。

結びに、市民の皆さまにおかれましては、健康に留意され、健やかな一年をお過ごしいただき、新しい年が皆さまと本市にとりまして、より良い一年となりますことを心から祈念いたしまして、新年のご挨拶いたします。

オーストラリア マツカイ市長

グレッグ・ウィリアムソン



明けましておめでとうございます。

昨年は、松浦市青少年親善使節団を本市にお迎えでき、とても嬉しく思いました。

本市では、昨年、遊具広場とスポーツコートなどを備えた「ノーザン・ビーチズ・コミュニティ・ハブ」という施設を開設し、今年訪問される松浦の皆さまをご案内できることを楽しみにしています。

松浦市国際親善協会およびシスターシティズ・マツカイの皆さまの継続的なご尽力により、両市の絆が引き続き強化されていることを大変喜ばしく思います。

松浦の皆さまにとって新しい年が素晴らしい一年となりますよう心からお祈り申し上げます。

モンゴル国ウブスハンガイ県
ホジルト郡長

ジャンバ・オユンゲレル



明けましておめでとうございます。

昨年は本郡から11名が松浦市を訪問し、「第40回国民文化祭・第25回全国障害者芸術・文化祭」に参加しました。姉妹都市関係が再開された直後にこのような素晴らしい体験と友情関係が育まれたことを嬉しく思います。

訪問の際にいただいたごみ出しカレンダーなどを参考に本郡でごみの分別、処理を開始し、郡民の生活に大きな影響を与えています。

令和8年度は、松浦市からの訪問をお迎えし、本郡からも保育士が訪問する計画をしています。

新しい年が両市民の交流と友情がさらに深まる年になりますよう心からお祈りいたします。